

す。**問** ものづくりなどの若手クリエイターへの支援について、⑦ネットワークづくりやウェブ上に店舗サイトを立ち上げるなどの支援を行ってはどうか。⑧アトリエ化支援事業等をさらに利用しやすいものにしてはどうか。⑨J R御徒町駅・秋葉原駅間のガード下のアトリエショップのように、J R浅草橋駅のガード下を活用してはどうか。**答** ⑦合同展示会の開催等により、販路開拓のみならず、クリエイター同士の連携にも効果が上がっています。今後はインターネットの活用も検討していきます。⑧有効な支援となるよう努めていきます。⑨若手クリエイターが活用しやすい環境づくりを、J Rに働きかけていきます。

認定こども園について

**問** 台東幼稚園を廃園し認定こども園をつくる計画があるが、関係者の意見を十分に聞き、検討し直すべきではないか。**答** 待機児童の急増を解消するため、こども園については平成 24 年 4 月の開設を考えていますが、台東幼稚園との一体化の時期については、関係者と協議を重ね、決定していきます。**問** まず、区内 2カ所の認定こども園について、5年程度の実践を踏まえて検証すべきではないか。**答** 今回、認定こども園の運営状況を評価・検証しました。その結果、両園とも区民・保護者から、一定の評価を得ているものと考えています。



いぶきの会

ほり こし ひで お  
**堀越 秀生**

区立台東幼稚園の存続を求める

**問** 幼児教育の重要性について、どう考えているか。**答** 幼児期の教育・保育は、小1プロブレムなどの新しい課題ともあいまって従来より重要になっています。**問** 認定こども園を待機児童解消につなげるとしているが、認定こども園の目的は教育・保育の一体化であるとの見解が変わるといふことか。また、台東幼稚園の閉園は、実質的な区立幼稚園の再編・統合ではないか。**答** (仮称)台東こども園は、台東幼稚園と一体化することにより

施設を有効かつ効率的に活用し、入園者すべてに対し、より充実した就学前教育を提供するとともに、待機児童の解消を図ることを目的として計画したものです。**問** 石浜橋場こども園及びことぶきこども園の運営状況の精査について、会計を含めて何う。**答** 両園の検証結果や入園の応募状況を考慮すると、概ね順調に運営されていると評価しています。経費については、子育て支援特別委員会で報告します。**問** 公立及び私立の幼稚園・認定こども園などの設置に関する総合計画について、どのくらい議論がなされてきたか。**答** 今後の区立幼稚園・保育園・こども園を含む教育施設のあり方について、待機児童の推移などを踏まえ、検討に着手しています。国のこども園に関する施策の動向も注視しながら、施設整備の方向性について慎重に検討を進め、幼児教育の場の適正な確保に努めます。



台東区議会自由民主党

たか やなぎ よし お  
**高柳 良夫**

南めぐりんについて

**問** めぐりんは交通不便地域の解消だけでなく、文化・観光拠点等へのアクセス向上に大きく寄与している。しかし、南めぐりに限って、利用者が減少気味である。利用者数の増加及びさらなる利便性の向上のため、路線の変更を検討すべきではないか。**答** めぐりんの円滑な運行を進める中で、経済状況や地域状況、今後の乗車人数等の状況を勘案し、総合的な観点から、早期に研究していきます。

J R浅草橋駅のバリアフリーについて

**問** J R浅草橋駅のバリアフリー化は、一向に進んでいない。「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づき、特定旅客施設として、速やかにバリアフリー化を進めるよう関係機関に強く申し入れるべきではないか。**答** これまで、J R東日本に対し、浅草橋駅のバリアフリー化を強く要望し、協議を行ってきました。平成 17 年には、東口に階段昇降機が設置されましたが、さらなるバリアフリーを推進するため、台東区交通バリアフリー基本構想にエレベーターの設置を位置づけ、引き続き要請しているところです。J Rは、設置位置の検討及び関係機関との調整を行っていますが、駅の構造上の理由等により具体的な計画に至っていません。今後も引き続き早期実現を要請するとともに、協議を進め、具体的な計画が進展した場合には、必要な支援を行っていきます。



台東区議会区民クラブ

き むら はじめ  
**木村 肇**

区長選挙への吉住弘区長の基本姿勢について

**問** 吉住区長は、昨年第 3 回定例会において、区長選挙への立候補の意思を表明したが、その後、自民党台東総支部において、党員投票による区長予備選挙が実施され、投票総数 1,363、保坂三蔵氏 847 票、吉住弘氏 513 票で、保坂氏が推薦候補者に決定した。①予備選挙は、両候補が党に一任し、投票結果を尊重するとの合意のもとで実施されたと聞かすが、事実か。②党から除名等の処分があった場合、受けるのか。③結果として 8 年間の吉住区政が否定されたことについて、どのように思うか。**答** ①②③私は、就任以来、全力で区政運営にあたり、区民サービスの向上に努めてきました。私には、2 期 8 年の実績を踏まえ、「にぎわい いきいき したまち台東」の実現を確固たるものとしていきたいとの強い思いがあります。予備選挙は、党として決定し、実施されたものです。じくじたるものもありますが、ルールにのっ

とり正々堂々と臨んできました。結果は結果として受けとめますが、予備選挙は、あくまで党内の推薦候補者の選考選挙です。区長選挙において、区民の皆様のご審判を仰ぐべく、全力を傾けます。

東京メトロ入谷駅について

**問** 入谷駅の新出入口が完成したが、列車風が解消されていない。また、上りホームはバリアフリー化されておらず、上下線のホーム連絡通路には、エスカレーターが設置されていない。このように中途半端な整備が行われたことについて、どのように考えているか。**答** 列車風対策については、引き続き行われている建物の工事が終了した後、東京メトロが科学的な検証を行う予定とのことなので、その結果を見守っていきます。また、今回の整備では、新出入口へのエレベーターの設置により、まず、三ノ輪方面行きホームがバリアフリー化されました。上野方面行きホームについては、別途エレベーターの設置が検討されています。列車風対策及びバリアフリー化は、鉄道事業者の責務として実施されたものであるため、区としては、今後も列車風対策や未整備の施設に対する要望及び協議を行っていきます。



台東区議会自由民主党

いずみ ひろ し  
**和泉 浩司**

財政について

**問** 23 年度予算について、⑦主要財源の減収について、所見を何う。⑧基金とりくずし額が減った理由を何う。⑨歳出予算は、どのような議論のもと編成されたのか。⑩区長・区議会議員選挙実施後、補正予算を組む予定はあるか。そのための財源を確保しているのか。**答** ⑦厳しい財政状況が続くと考えますが、強固で弾力的な財政基盤の構築に努めた結果、財政の対応力は高まっています。⑧補助金等の活用による国・都支出金の増や歳出抑制に努めた結果と考えています。⑨全庁的な意識の共有化や連携強化を図るとともに、様々な視点から議論をし、区民生活にかかわる課題に的確に対応した予算を編成しました。⑩政策的な経費は改選後に補正予算を組み、新たな

議会において審議を受けるべきと考えています。財源については、基金等の活用で対応できると考えています。**問** 地方分権について、⑦本区にとって有益な改革の実現のため、どのように活動していくのか。⑧首長と議会のあり方について、所見を何う。**答** ⑦様々な機会をとらえ、積極的に活動していきます。⑧両者が民意の代表として独立して活動するとともに、連携しながら自治体を運営していくものと認識しています。

子ども手当について

**問** 財源の地方負担に異を唱える自治体がある中で、どのような考えで予算を計上したのか。**答** 全額国庫負担で行うべきと考えますが、子どもの健やかな育ちを支援するため、必要経費を計上しました。**問** 保育料等の収入未済への対応を何う。**答** 督促や催告書の送付、納付相談等に加えて訪問徴収を実施しました。**問** 子ども手当からの保育料等の徴収が可能になった場合の方針や準備状況を何う。**答** 今後、国から示される具体的な内容をもとに、効果的に活用していきます。